

### 3 行政視察

- (1) プログラム
- (2) 説明者プロフィール
- (3) 資料

# 3 行政視察

## (1) プログラム

2003年11月10日 (月)

9:30-10:00	ホテル出発、熊本市尾ノ上地域コミュニティセンターへ
10:00-11:30	熊本市尾ノ上地域コミュニティセンター 概要説明 説明者：舩ワークス有限会社代表 岡 裕二 視察
11:30-13:00	昼食
13:00-13:30	熊本市尾ノ上地域コミュニティセンター出発、水前寺成趣園へ移動
13:30-14:30	水前寺成趣園視察
14:30-15:00	水前寺成趣園出発、熊本城へ移動
15:00-16:00	熊本城視察
16:00-16:10	熊本城出発、ホテル着

## (2) 説明者プロフィール

岡 裕二 (おか ゆうじ)

1955年生まれ 舩ワークス有限会社代表 (地域計画、環境調査)

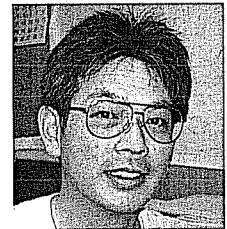
略歴

1978年 立正大学文学部地理学科卒

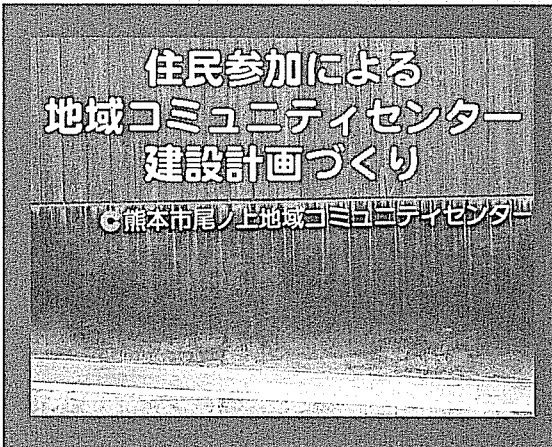
株式会社高木富士川計画事務所 (都市及び地方計画) を経て、

1994年 舩ワークス有限会社 (地域計画及び地域づくり計画) を設立

- ・熊本県地域活性化支援事業アドバイザー (1995年～)
- ・全国水環境交流会コーディネーター (1996年～)
- ・九州地方整備局環境教育委員会 委員 (2002年～)
- ・NPO法人九州流域連携会議 事務局長 (理事) (2002年～) 等



(3) 資料



**住民参加による  
地域コミュニティセンター  
建設計画づくり**

熊本市尾ノ上地域コミュニティセンター

**熊本市**

1

### □地域コミュニティセンターの役割

○地域コミュニティセンターは、  
地域づくり活動の拠点施設

住民が、主体となって行なう  
自発的な地域づくり活動を  
促進・支援する拠点施設です。

各校区に一つ建設されます。

○地域コミュニティセンターと  
地域公民館との違い

地域公民館	⇒	社会教育事業における 生涯学習活動
⇔		
地域 コミュニティ センター	⇒	地域住民による自主的・ 主体的なまちづくりや 健康・生きがいづくり など様々な活動

2

### □地域コミュニティセンター建設の条件

- 建設工事費  
6,500万円以内（設備費等含む）
- 建築面積  
250㎡程度
- 構造  
木造平屋
- 敷地面積  
500㎡程度  
（駐車場は障害者用と搬入用駐車場程度）
- 土地所有  
市有地（借地や土地の購入はできない）
- 建設場所  
できるだけ校区の方が利用しやすい場所

※尾ノ上校区の場合  
これらの条件を満たす場所として  
錦ヶ丘公園北側テニスコート西側  
が選ばれ、熊本市都市公園集会所設置協議会で  
承認されました。

3

### □なぜ、 地域コミュニティセンターの 建設計画づくりを 住民参加で行なうのか

これまでの地域公共施設は、  
建設することが目的だったため、

- 行政まかせにすることが多く

計画の段階で地域の声が反映されなかった。

結果として、

施設的に

- デザインが画一的
- 使い勝手が悪い

運営的に

- 公共施設として「規制」が多い
- 多様なニーズに対応できない
- 熊本市の経費負担が大きい

など、地域の個性にあった「施設建設や運用」が  
できませんでした。

4

# 3 行政視察

## □だから、住民参加の地域コミュニティセンターの建設計画づくりです

自主的な地域づくり活動の拠点となる地域コミュニティセンターの建設にあたっては、

計画段階より住民が参加し、

- 施設をどのように使うか (どんな使い方をしたいか)
- どのような施設にしたいか (間取り、設備、デザイン 等)

を検討し、結果として

- 使い勝手の良い
- 住民の利用ニーズにあった施設建設

を行なうとともに

施設の管理運営を地域へ委託 (維持管理費は補助)

するため、事前に

- 自主運営ができるソフトを検討・準備
- 地域の施設としての愛着の素地を作る

ことを目的として、住民参加で建設計画づくりを行なうこととなりました。

5

## □ワークショップによる計画づくり

いままでの計画づくり

行政・学識経験者・地元代表者 → 委員会

住民  
・知らなかった  
・降って湧いたような印象  
・意見が反映されていない

・使い勝手の悪い施設  
・住民の無関心  
・地域に愛されない施設

ワークショップによる計画づくり

「その地域のことはそこに住む住民自らが率先して考える」という地域づくりの基本から、住民の地域づくりに対する参加意識の向上を図るとともに住民自らが地域のことを考えていく方法を学ぶ手段の一つとして、全国各地で盛んに行なわれるようになってきています。

ワークショップとは

大人から子供まで幅広い年齢層や男女の区別なく、関心のある地域住民が気軽に参加でき、自分達の意見を反映する方法として編み出された技法

見たり、聞いたり、触ったりと五感で感じながら身体を動かして発見し、共通の認識を高めながら、創造へと向かっていくという、参加者が共通の体験をしていく場

その地域の現状や特性および地域づくりの段階に応じて、様々な聞き方があり、開催する目的によって、有効な方法を考えていくことが大切です。

6

## □ワークショップを駆使した住民参加(主体)型の計画づくりの利点

①行政と住民が、計画づくりを通して情報を共有化でき、地域や計画に対する共通認識を育てることが出来る。

②行政と住民が、地域づくりの目標を定め、戦略と戦術を同時に組み立てることができる。

③計画策定していく段階で、自分たちの地域のあり方を見直すことができる。

④計画そのものが自分たちのものであると感じることが出来ることにより策定後の事業の推進がやりやすくなる。

7

## □ワークショップによる地域コミュニティセンター建設計画づくりの進め方

事前準備(1) 地元関係者とワークショップの進め方についての打ち合わせ

事前準備(2) 現地調査

コミセン準備室通信(参加呼び掛け)

どんなコミセンにしたいですか?

施設テーマ機能メニュー

コミセン準備室通信(1)

施設の構成を考えましょう

施設構成および平面図

コミセン準備室通信(2)

模型製作

施設の運営を考えましょう

運営計画

コミセン準備室通信(3)

ワークショップまとめ

建設基本計画案の作成

コミセン準備室通信(4)

校区発表会

実施設計

8

## □地域コミュニティセンター 建設計画づくりのドキュメント

### どんなコミセンにしたいですか？



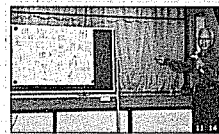
錦ヶ丘公園の持っている機能に配慮しながら、このコミセンに期待される機能やこんな使い方ができたらいいなという自分の考えを簡潔にポストイットに書く。

トランプの7並べの要領で自分のカードを広用紙に貼りながら発表する。



全員の発表が終わったら分類してきたグループ同士の相関関係に気をつけながら再配置し、楽しくプレゼンテーションする。

作業結果の発表



地区のふれあい交流の場	福祉・学習の場	情報基地	防災拠点	公園交流施設
地域の会館場 地区の宴会場 趣味の集まり 校区行事の場	・世代間交流 ・総合的学習 ・子育て支援 ・住民図書館	・地区の各種 団体事務所 地区IT拠点	・有事避難場所 ・防災指揮所 ・ボランティア 支援の場	・公園利用者の 休息場 ・交流宿泊 ・屋外空間利用

9

### 施設の構成を考えましょう



前半は基本施設に加える施設を考えました。  
・こんな使い方ができる施設がほしい。  
・いや！そんな施設は必要無い。など激論の連続でした。

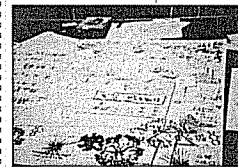
後半は配置を考えました。  
・和室の大きさは？  
・場所は？  
・やっぱりここだな！  
時間との戦いでした。



・実際に測ってみる



・完成です



・作成した案を発表しました

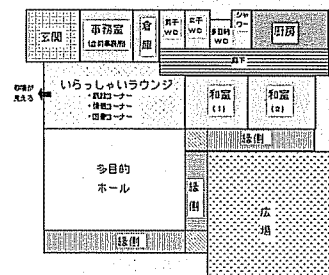


10

井戸端会議が できる地域交 流の場	いつでも気軽 に使える家	多目的に楽し く気軽に使い、 子供も使える 場	用がなくても 行きたくなる 楽しい感じの場	可づくり人の情 趣味と学習 コミュニケーション
基本施設：ホール・和室・事務室・トイレ・多目的トイレ・調理室・倉庫				
・サロン	・ロビー ラウンジ ・図書コーナー ・ITコーナー ・シャワー ・緑園 広場	・ロビー ラウンジ ・図書コーナー ・ITコーナー ・シャワー ・緑園 広場	・ロビー ・ITコーナー ・シャワー ・緑園 広場	・ロビー ラウンジ ・図書コーナー ・ITコーナー ・緑園 広場



どの班の案が良いか投票しました。



5つの案の中で最高得点をあげた案  
高得点の理由としては、  
①個性的な施設レイアウト  
②いちゃいちゃラウンジ  
談話・情報・図書コー  
ナーを備え、砂場で遊ぶ子ど  
もが見える多機能ラウン  
ジ  
③事務室に校区団体の合同  
事務所  
④施設に広場を加えた  
などが評価された。

11

### 施設の運営を考えましょう



これまでの議論をもとにした3つの施設構成案が提示されました。

その3案を検討するにあたり、これまでの議論の中で積み残されていた次の4点を各班で議論しながら、施設構成を決定しました。



施設	検討内容	主な理由	結果				
			1班	2班	3班	4班	5班
シャワー	必要	防災時や公園の機能から必要		○	○		
	不必要	管理や予算、スペースから不必要	○	○	○	○	○
ステージ	固定式	ホールの広さは閑取りで確保				○	○
	可動式	ホールの広さや多目的性を重視	○	○	○	○	○
調理室	教室タイプ	匂いや音、衛生面に配慮					○
	オープンタイプ	開放感や機能性、多目的性に配慮	○	○	○	○	○
トイレ	外部入口あり	既存の公園トイレの替わり					○
	外部入口無し	既存の公園トイレを利用、汚れる	○	○	○	○	○

限られた予算と建築面積、防災機能と軽スポーツの場の機能を持つ錦ヶ丘公園に建設されるコミセンに求められる機能、地元での自主管理・運営などを考えつつ、理想と現実の間で様々な意見が出ました。

12

# 3 行政視察



使い方を「企画メニュー」・「使用する施設(部屋・場所)」・「運営主体」・「企画内容」にわけて書き、コミセンのあり方や施設の構成を改めて考えました。

地区のふれあい交流の場	福祉・学習の場	情報基地	防災拠点	公園交流施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種教室</li> <li>各種会議</li> <li>町づくり行事</li> <li>懇親行事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て交流会</li> <li>いざいざサロン</li> <li>世代間交流会</li> <li>読み聞かせ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン教室</li> <li>地区団体会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの合宿</li> </ul>

企画メニューは、1班から5班の合計(重複分は除く)で、80ほどの企画案ができました。

13

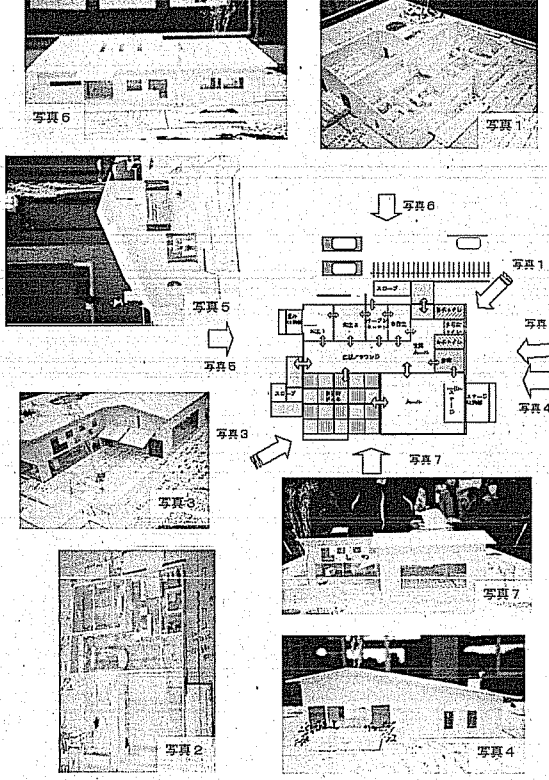


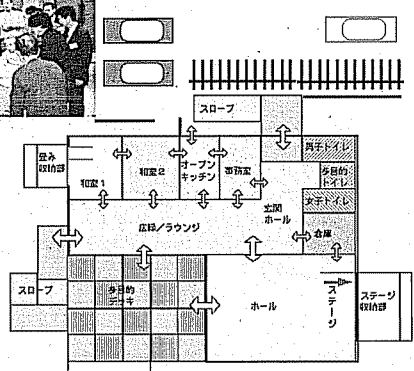
写真1 写真2 写真3 写真4 写真5 写真6 写真7 写真8

14

### ワークショップまとめ

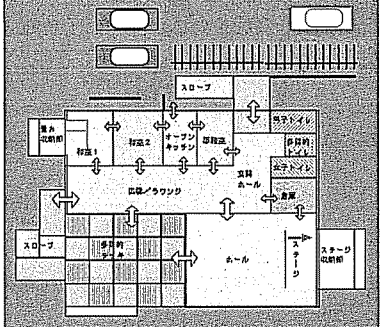
- ①最初に自分達が考えていたコミセンの機能を持っているか、
- ②錦ヶ丘公園に建設されることへの配慮はなされているか、
- ③コミセンとしての個性的な企画や施設構成は考えられているか、
- ④熊本市における今後のコミセンづくりのモデル施設になっているか、などを

「新しい機能の付加」・「利用者像」・「使い方のイメージ」・「施設運営」・「公共の場」という視点からさらに検討しました。



- 夜間のホームレス対策や防犯上の工夫(照明など)を考えておく
- 施設管理、メンテナンスを簡単にできるように考えておく
- 運営委員会の構成について考える
- 防災拠点としての機能を付加する
- 他の部屋への防音には心掛けてほしい

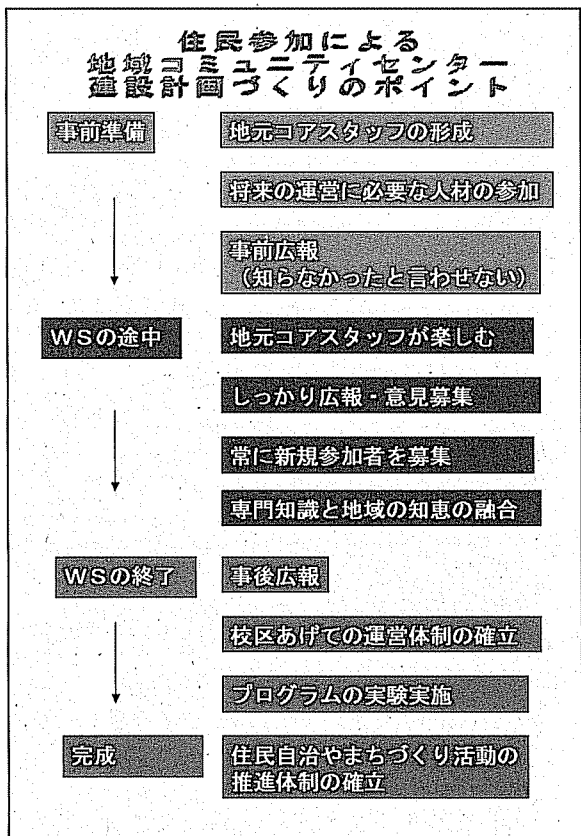
15



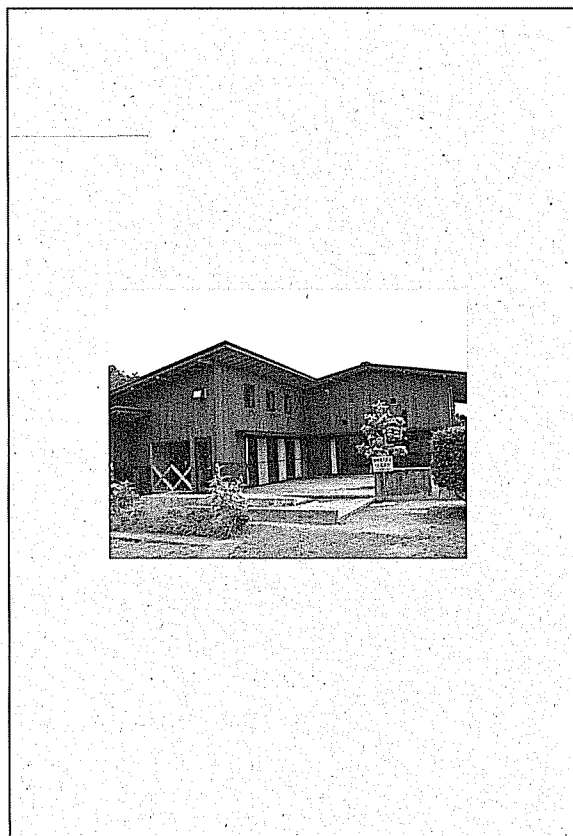
- 施設コンセプト 明るく開放的で、多目的に楽しく、気軽にみんなが集える交流の場
- ホール (90㎡) 可動式ステージがあり、好天時は、多目的デッキと一体で使えます。
- 広縁/ラウンジ (40㎡) インターネットなどが使える情報コーナーや図書コーナー、井戸端会議等に使える南向きの明るいスペース。
- 和室1、和室2 (10帖×2、83㎡) 和室1、和室2を合わせても使い、畳を畳み収納部に直すと板張りでもミニホールとしても利用可能です。また、和室2は、板張りにしてキッチンと一体化でき、料理教室会場としても利用できます。
- オープンキッチン (15㎡) ラウンジ側にカウンターがあり、お茶などのサービスなどができます。また、和室、事務室とも行き来でき、勝手口もあります。
- 事務室 (15㎡) オープンカウンター式で、地域の団体の事務スペースとして利用可能で、地域情報の拠点となります。
- 倉庫 ホールなどの机や椅子の収納用ですが、出演者の控え室として利用します
- 多目的トイレ 乳幼児のおむつ替えなどの場として利用できるようにしてあります。
- 多目的デッキ 使い方自由の屋外スペース(ホールと一体化した利用も)。
- 駐車場・駐輪場 陣営者用、搬入用として2台と駐輪スペースがとられています。

16

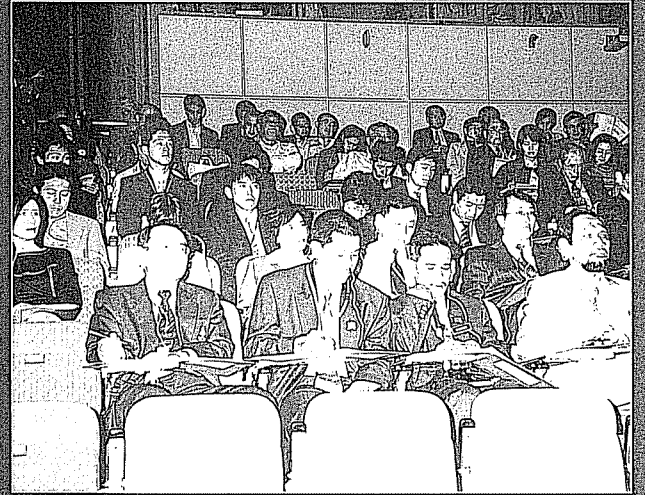




17



18



#### 4 参加者名簿

#### 5 参加者数

#### 6 市民参加者の声～アンケート結果から

#### 7 報道状況



# 4 参加者名簿

9カ国・18都市（国内8都市・国外10都市）39名

City (Country) 都市名 (国名)	Title 役 職	Name 氏 名
Bangkok Metropolitan Administration (Kingdom of Thailand) バンコク市 (タイ王国)	Director of Survey and Mapping Division, City Planning Department 都市計画部測量地図課長	Mr. Khunpol <u>Prompaet</u> クンポール プロンパエ
Busan Metropolitan City (Republic of Korea) 釜山広域市 (大韓民国)	Manager, Citizen Partnership, Self-Governing Administration 市民協力担当課長	Mr. <u>Kim</u> , Gwang-hee 金 光會 (キム ガンフェ)
	Staff Member, Citizen Partnership, Self-Governing Administration 市民協力担当課職員	Mr. <u>Jung</u> , Gwang-soo 鄭 光洙 (ジョン ガンス)
	Staff Member, International Relations Division 国際協力課国際会議担当職員	Ms. <u>Lee</u> , Seon-a 李 仙兒 (イ ソナ)
City of Fukuoka (Japan) 福岡市 (日本国)	Director, Planning & Coordination Department 企画調整部企画課長	Mr. Yusuke <u>Nakamura</u> 中村 裕輔
	Chief, Planning & Coordination Department 企画調整部企画課係長	Mr. Keiichiro <u>Kogarashi</u> 夙 慶一郎
	Director, International Planning Section 国際部国際企画課長	Mr. Hiroaki <u>Yamaguchi</u> 山口 裕明
	Chief, International Planning Section 国際部国際企画課係長	Ms. Yumiko <u>Nagamatsu</u> 永松 由美子
	Staff, International Planning Section 国際部国際企画課事務吏員	Mr. Toshihiko <u>Hara</u> 原 敏彦
The People's Government of Guangzhou (People's Republic of China) 広州市 (中華人民共和国)	Vice Director General, Construction Commission 建設委員会副主任	Mr. <u>Lu</u> Yuan 陸 原 (ルー ユエン)
	Vice Director, Construction Commission 建設委員会副処長	Mr. <u>Qi</u> Huai En 齊 懷恩 (チー ホアイエン)
People's Committee of Ho Chi Minh City (Socialist Republic of Viet Nam) ホーチミン市 (ベトナム社会主義共和国)	Head of Urban Planning Division 都市計画課長	Mrs. <u>Nguyen</u> Kim Thu グエン キム スー
The Government of the Hong Kong Special Administrative Region (People's Republic of China) 香港特別行政区政府 (中華人民共和国)	Assistant Director / Technical Services, Planning Department 企画部補佐 (テクニカルサービス部門)	Mr. Jimmy C.F. <u>Leung</u> 梁 焯輝 (リャン ジュオホイ)

City (Country) 都市名 (国名)	Title 役 職	Name 氏 名
Jakarta Capital City Administration (Republic of Indonesia) ジャカルタ特別市 (インドネシア共和国)	Head of City Spatial Planning of North Jakarta Municipal Administration 北ジャカルタ地区都市空間計画部門課長	Mr. Wiriyatmoko ウイリヤトゥモコ
	Head of Section of Evaluation and Monitoring, Board of Empowering Community 地域授権委員会審査監視課長	Mrs. Widya Indra <u>Rosiana</u> ウィディヤ インドラ ロシアナ
Kagoshima City (Japan) 鹿児島市 (日本国)	Chief, Citizens' Participation Promotion Division 市民部市民参画推進課長	Ms. Keiko <u>Harada</u> 原田 けい子
	Section Chief, Citizens' Participation Promotion Division 市民部市民参画推進課市民参画係長	Mr. Takao <u>Arimura</u> 有村 隆生
City of Kitakyushu (Japan) 北九州市 (日本国)	Manager, International Policy Section, Planning and Coordination Office 企画政策室国際政策担当主査	Mr. Kazuaki <u>Iwata</u> 岩田 和晶
Kuala Lumpur City Hall (Malaysia) クアラルンプール市 (マレーシア)	Deputy Director General 事務次官	Mr. Haji Salleh Bin <u>Yusup</u> ハッジ サレー ビン ユスツッ
	Town Planning Officer, Planning and Building Control Department 都市計画・建築規制課都市計画官	Mr. Haji Sahrom Bin <u>Uiang</u> ハッジ サーロム ビン ウジャング
	Town Planning Officer, Master Plan Department 総合計画課都市計画官	Mr. Sulaiman Bin <u>Mohamed</u> スライマン ビン モハマド
Kumamoto City (Japan) 熊本市 (日本国)	Director, Community Development and Promotion Section 地域振興部地域づくり推進課長	Mr. Seishiro <u>Sugihara</u> 杉原 青史郎
	Assistant Director, General Planning Section 企画広報部企画課長補佐	Mr. Ryoji <u>Soh</u> 宗 良治
Miyazaki City (Japan) 宮崎市 (日本国)	Division Chief, Mayor's Office Citizens' Activities Promotion Division 市長室市民活動推進課長	Mr. Taira <u>Okuya</u> 奥屋 平
Nagasaki City (Japan) 長崎市 (日本国)	Director, International Affairs Section 観光部国際課長	Mr. Toshiyuki <u>Sato</u> 里 敏之
	Staff, International Affairs Section 観光部国際課事務吏員	Mr. Hisayuki <u>Machida</u> 町田 久幸
City of Oita (Japan) 大分市 (日本国)	Executive Director, Planning Department 企画部長	Mr. Yoshiyuki <u>Eto</u> 衛藤 嘉幸
	Manager, General Planning Division, Planning Department 企画部総合企画課主査	Mr. Fumikazu <u>Hatano</u> 羽田野 文和

City (Country) 都市名 (国名)	Title 役 職	Name 氏 名
Saga City (Japan) 佐賀市 (日本国)	Director, Citizen Activity Division 市民活動推進課長	Mrs. Fujiko <u>Furukawa</u> 古川 富士子
	Chief, Promotion Office, Citizen Activity Division 市民活動推進課市民活動推進係長	Mr. Hiroshi <u>Yamaguchi</u> 山口 裕
Republic of Singapore シンガポール共和国	Senior Planner, Physical Planning Division, Urban Redevelopment Authority シンガポール都市再開発庁都市計画課シニアプランナー	Ms. Caroline <u>Seah</u> キャロライン シアー
Urumqi Municipal Government (People's Republic of China) 烏魯木齊 (ウルムチ) 市 (中華人民共和国)	Vice Mayor 副市長	Mrs. <u>Wang Jian Ling</u> 王建玲 (ワン ジュンレイ)
	Director of Foreign Affairs Office 人民政府外事弁公室主任	Mr. <u>Li Bo Jun</u> 李伯軍 (リー ボージュン)
	Director of Tourism Administrative Bureau 観光局長	Mrs. <u>Palidan Reyimu</u> 帕力旦 熱依木 (パリダン レイム)
	Director of Trade Development Bureau 貿易発展局長	Mrs. <u>Su Lei</u> 蘇 磊 (スー レイ)
	Section Chief of International Exchange Department of Foreign Affairs Office 人民政府外事弁公室国際交流処長	Mr. <u>Hu Ping</u> 胡 平 (フー ピン)
Vladivostok City Administration (Russian Federation) ウラジオストク市 (ロシア連邦)	Chairman, Economics and Management Committee 経済運営委員会委員長	Mr. Alexander P. <u>Zharov</u> アレクサンダー ピー ザロフ
	Chief, Department of Economic Policy and Entrepreneurship, Economics and Management Committee 経済運営委員会経済政策起業課長	Mr. Sergey I. <u>Verolavnen</u> セルゲイ アイ ウェロライネン
	Specialist, International Relations Committee 国際交流委員会専門員	Mr. Alexey Yu. <u>Palienko</u> アレクセイ ユー パリエンコ

## 5 参加者数

内 訳	参加都市出席者等	一般参加 (市民)	主催関係者	計
会 議	41	100	13	154
行政視察	32	2	11	45

## 6 市民参加者の声～アンケート結果から

今後「市民協働」で特に重点的に取り組むべき課題はなんだと思いますか？

- ・ 子どもの問題、少子化対策、教育、週休2日の過ごし方、環境、観光（70歳以上・男性）
- ・ 社会福祉分野での行政のあり方（50代・男性）
- ・ まちづくり、特に税負担なども考慮に入れ、都市固有の魅力をも伸ばすようなユニークな活動や条例づくり（40代・男性）
- ・ 市民意識の向上。いかに市民に興味を持たせるか。市民に「まちづくり」を身近に感じさせることが重要だと思う。特に若者に。（20代・女性）
- ・ 行政側の意識改革。行政の意識は、パートナーシップという言葉の「対等」という認識が徹底しておらず、ともすれば「指導・管理」という旧来の考え方が根強く残っていると思われる。（50代・男性）
- ・ 地域住民同士の関わり方。（子ども、高齢者を共にした）参加しやすい関心を持つ環境づくりをする。地域で引っ張っていけるような人を立てることも必要だと思う。（60代・女性）

今回の会議全体について、どのように評価されますか？

- ・ 宮北先生のように行動する知識人・市民が増えてきたのは喜ばしいこと。活躍する場を大いに求めていただきたい。（40代・男性）
- ・ 「市民協働」と一口に言っても、都市間、国際間で大きな違いがあることが理解できた。各々の理解する概念が異なっている。（50代・男性）
- ・ 市役所の考え、市民の心構え等がよりわかりやすくなった。住民の意識につながる話だったと思う。多くの人（市民）に聞いてもらいたい話だった。（60代・女性）

### 意見・感想

- ・ 市民の意見と首長のまちづくりの方向性の整合性をどうするのか。行政は責任を取ることを求められるが、市民は極論すれば「言いつぱなし」で責任は問われない。声の大きい者の意見ばかりが通れば、行政の一貫性、公平性が保たれなくなる恐れがある。声なき民（大多数）の声をくみ上げるシステムを強化しないと「愚衆政治」を招いてしまう。「市民協働」という甘美な響きの裏にあるものに気を配る必要があると思う。（50代・男性）
- ・ 市民への情報が足りないと思う。若者を取り込むことが難しいが大事であると思う。ボランティア団体が助成金をもらうことをよく聞き知っています。今日の最後の荒木先生の話聞き、おかしいと思っていたことがよくわかりました。（60代・女性）
- ・ 県下の市町村でもまちづくりが盛んに行なわれているので、この会議に参加を呼びかければよかったのでは。（50代・男性）

【2003年11月5日・西日本新聞】

## アジア太平洋都市サミット

### 9日から実務者会議

熊本市

アジア・太平洋地域の開いている。これまで四都市に共通する課題を論議し、相互協力を模索する「アジア太平洋都市サミット」の実務者会議が九日から二日間、熊本市国際交流会館で開かれる。九州の県都と政令市の八市のほか、海外八カ国の十市から課長クラスの職員ら計約四十人が参加し、「市民協働の街づくり」をテーマに事例発表などが行われる。

同サミットは福岡市の提唱で一九九四年に始まり、首長が集まるサミットと実務者会議を隔年で開く。

九日は熊本県立大総合管理学部の荒木昭次郎教授が「日本における協働型まちづくり」と題して基調講演。熊本市が取り組んでいる自治基本条例の策定作業について同市企画課が事例発表する。また、市民と行政の連携について香海、シンガポール、鹿児島市、大分市がそれぞれ事例発表する。十日は熊本市内を視察する。

会議は傍聴自由。同市では市民の来場を呼びかけ、問い合わせは同市国際交流課（096-220700）。

【2003年11月10日・熊本日日新聞】

## 「市民協働」話し合う

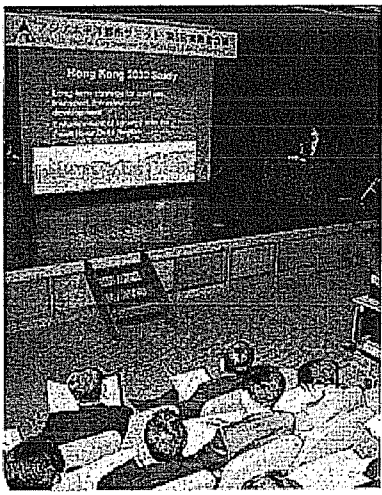
### アジア太平洋都市サミット実務者会議

熊本市

九州の政令市・県庁所在都市とアジア八カ国の主要都市が参加する「アジア太平洋都市サミット」の第五回実務者会議が九日、熊本市で始まった。十日まで、初日は同都市の行政担当者らが参加し、「市民協働の街づくり」をテーマに意見を交わした。

同サミットは福岡市が呼び掛け一九九四年（平成六）年に始まった。首長によるサミットは隔年であるが、未開催の年は実務者会議を開いている。国外の参加都市（国）はバンコク、釜山、広州、香港、ウルムチ、ホーチミン、ジャカルタ、クアラルンプール、ウラジオストク、シンガポールの十都市。熊本市での開催はサミット、実務者会議を通じて初めて。

花畑町の市国際交流会館であった会議には約百五十人が出席。香山政史市長が「アジアの市民協働、自分自身も強い関心を持っている。各都市の発展につながる議論をしてほしい」とあいさつ。県立大の荒木昭次郎教授が「地方行政が基調講演した。事例報告では熊本市など五都市が発表。シンガポール都市再開発の担当者は「公園と水辺に關する計画」などの立案に市民との協働を積極的に取り入れた事例を報告する。



「アジア太平洋都市サミット」第5回実務者会議で事例報告する香港特別行政区政府の担当者一熊本市

鹿兒島市は今年六月施行の「市民参画を推進する条例」を紹介し、「市民のニーズを十分に把握し効果的、効率的な施策を選択する必要性が高まっている」と述べた。

十日は尾ノ上地域コミュニティセンターを視察する。

【2003年11月10日・西日本新聞】

## 実務者会議

### 熊本市で開催

アジア太平洋都市サミット

アジア・太平洋地域の行政関係者が集まって話し合う「アジア太平洋都市サミット」の実務者会議が九日、熊本市花畑町の同市国際交流会館で開かれた。

二〇〇二年九月に福岡市で開かれた同サミットで、分科会議テーマとして取り上げられた「市民参加型都市づくり」を掘り下げるのが狙い。九カ国十八都市から課長クラス十人の職員ら約四十人が参加し、香港や大分市などが事例発表した。

シンガポール都市再開発のキャロライン・シアさんは「行政への市民参加で有効な土地利用や新しいアイデアを獲得している」と話した。